## 要望書

平成17年7月14日、横浜環状道路等の整備促進に関する「横浜市幹線 道路網建設促進決起集会」を開催し、次のとおり決議を採択いたしました。 つきましては、決議事項の早期実現に特段のご配慮をお願いいたします。

平成17年7月19日

横浜市幹線道路網建設促進協議会 会長 高梨 昌芳

## 決議

都市の道路は、市民生活や経済活動を支える最も根幹となる施設である。一方、横浜市は、人、物、車が集中しているにも関わらず、幹線道路の整備が遅れているため、経済面では県内の渋滞による損失が、全国ワースト5位であり、その損失の約3分の1は、横浜市域で発生している。また、県内の死傷事故率は、全国ワースト1位であり、幹線道路の整備の遅れによる影響により、大きな損失を被っている。横浜市では、現在、臨海部と内陸部をつなぐ新たな高速道路として横浜環状北線の整備及び北西線の計画策定を進めている。この両路線の整備により湾岸線から東名高速道路が直結され、横浜港の機能強化や京浜臨海部の活性化、羽田空港へのアクセス改善、保土ヶ谷バイパスの渋滞緩和等の大きな効果があると期待している。これは、市民の利便性の向上や環境改善などにつながるものである。さらに、首都圏で見た場合でも、東名高速道路から東京へ集中する交通の分散など、交通の円滑化に寄与し、広域的にも大きな役割を果たす、この両路線の早期整備については横浜経済界あげての悲願である。そこで、国等においては、首都圏での横浜の役割や道路事情等を勘案し、次の事項について取り組んでいただくことを強く要請する。

- 一、横浜環状北線については、当初の予定通り、平成22年度に完成するよう、事業を 積極的に推進すること。また、横浜環状北西線については、早期に都市計画などの 手続きに着手し、北線の完成に遅れることなく供用できるよう進めること。
- 一、圏央道の一部である横浜環状南線、横浜湘南道路については、平成20年代半ば までに完成するよう、事業を積極的に推進すること。
- 一、道路関係四公団の民営化に当たっては、横浜環状北線・北西線・南線のような重

要な路線については、有料道路制度の活用により着実に整備が進められるようにすること。

一、道路特定財源は一般財源化することなく、道路整備を促進するために、財源を確保するとともに、都市部へ重点的に配分をすること。

右、決議する。

平成17年7月14日

横浜市幹線道路網建設促進協議会 会 長 高 梨 昌 芳

横浜市幹線道路網建設促進協議会		
横浜商工会議所	会 頭	高 梨 昌 芳
横浜港運協会	会 長	藤木幸夫
社団法人 神奈川経済同友会	代表幹事	小 谷 昌
	代表幹事	平澤 貞昭
社団法人 神奈川県経営者協会	会 長	高 橋 忠 生
社団法人 横浜貿易協会	会 長	西田義博
社団法人 神奈川県トラック協会	会 長	大塚義一
社団法人 横浜建設業協会	会 長	白井享一
(社)横浜港振興協会	会 長	徳 川 恒 孝
(社)神奈川県建設業協会横浜支部	支 部 長	三木崇雄
(社)神奈川県産業貿易振興協会	会 長	神 谷 光 信
(社)神奈川県タクシー協会横浜支部	支 部 長	新 井 聖 員
(社)神奈川県バス協会	会 長	齋 藤 寛
神奈川倉庫協会	会 長	松木俊武
(社)横浜市工業会連合会	会 長	貝 道 和 昭
(社)横浜青年会議所	理事長	黒川勝
神奈川県軽自動車協会	会 長	稲津忠生

会 長	服	部	眞 司	]
会長代行	齌	藤	寛	
会 長	中	山	春 雄	ŧ
会 長	平	野	袑	ì
会 長	中	澤	健治	ì
会 長	石	Ш	久 夫	ŧ
会 長	吉	田	貞一自	郎
会 長	小	Ш	是	
理事長	岡	本	坦	
理事長	松	田	昌士	=
会 長	Ξ	柴	雅由	3
会 長	岡	野	誠一	-
会 長	Ξ	澤	豊	
代表理事	竹	和	祐治	ì
代表理事	藤	井	調	
会 長	JII	本	守彦	F.,
会 長	内	藤	幸-	-
会 長	杉	浦	武	L
会 長	殿	岡	茂植	ţ
会 長	菅	原	健二	-
会 長	小	此木	歌	餀
会 長	井	澤	和男	3
	会会会会会会理理会会会代代会会会会会会长长、大人、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、	会会会会会会理理会会会代代会会会会会会会长、发展、发展、发展、发展、发展、发展、发展、发展、发展、发展、发展、发展、发展、	会会会会会理理会会会代代会会会会会会会会。	会会会会会会理理会会会代代会会会会会会会会。